

新しい情熱が  
生まれる瞬間

びわ湖ミュージックハーベスト2023  
打楽器アンサンブルセミナー《成果発表》

打楽器アンサンブル  
コンサート

2024年3月24日(日) 15:00開演(14:30開場)

滋賀県立文化産業交流会館 小劇場

主催／公益財団法人 **平和堂財団**

共催・制作／公益財団法人びわ湖芸術文化財団 滋賀県立文化産業交流会館

協力／株式会社しがぎん経済文化センター、株式会社ヤマハミュージックジャパン、パール楽器製造株式会社、株式会社こおろぎ社

後援／滋賀県、滋賀県教育委員会、公益財団法人日本室内楽振興財団

## 〔ご挨拶〕

公益財団法人平和堂財団は、株式会社平和堂の創業者である故夏原平次郎が、平和堂をここまで育てていただいた地域の皆様に感謝し、そのご恩に報いるため、私財を寄付し1989年3月に設立いたしました。

その願いは次世代を担う若い人たちの健全な成長のお手伝いであり、これから大きくはばたいていこうとする若い人たちへの努力を、さまざまな面から応援していこうというものであります。

事業としましては、教育・文化・体育・環境・児童福祉の5つの分野で助成活動を行っております。

具体的には高校生・大学生に対する育英奨学金の給付、新進芸術家に対する「芸術奨励賞」の贈呈とコンサートや美術展などの発表の場の提供、県内優秀選手の海外遠征費用の助成や各種スポーツ大会への助成、2011年度の公益財団法人への移行を機に始めました環境保全活動や環境学習への助成、児童養護施設入所児童の支援などを行っております。

今後も財団設立の精神を忘れることなく、将来のための「人づくり」に少しでもお役に立てるよう活動してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本セミナーおよび演奏会の開催にあたり、惜しみないご協力をいただきました株式会社ヤマハミュージックジャパン様、パール楽器製造株式会社様、株式会社こおろぎ社様に、心より御礼申し上げます。

公益財団法人平和堂財団  
理事長 夏原 美智子

## びわ湖ミュージックハーベスト

音楽家を志す若い人が、湖国滋賀で、アンサンブルを通じて音楽への理解を深め、共に演奏する素晴らしさを体験するセミナー+演奏会。

受講生のその後の飛躍に期待し、地域の皆様にアンサンブルの魅力を知っていただくことも目的としています。

この事業は公益財団法人平和堂財団が次世代アーティスト育成のために行う事業です

## Program

### I.クセナキス／オコ

Iannis Xenakis / Okho

### K.ニョック／南風の日々

Kim Ngoc / Tage des Südwind

## 第I部

### 吉岡 孝悦／3台のマリンバのための

「ディヴェルティメント」よりI.マーチ

Takayoshi Yoshitaka / Divertimento for Three Marimbas I. March

### C.ツインマー／エレクトリック・グラス

Claus Dieter Zimmer / Electric Grass für 4 Marimbas

～休憩～

### 山澤 洋之／彩りは再び巡りて

Hiroyuki Yamazawa / Colors Revisit

- 1.霧梅 Plum Blossoms in the Mist
- 2.月下美人 A Queen if the Night
- 3.曼珠沙華 Red Spider Lilies

## 第II部

【受講生全員合奏】

### 山澤 洋之／水のアラベスク

(びわ湖ミュージックハーベスト委嘱作品)

Hiroyuki Yamazawa / Arabesque of Flowing water

世界  
初演

## ● I. クセナキス／オコ Iannis Xenakis／Okho

A: 宮本 妥子 B: 久保 菜々恵 C: 岡崎 星音

クセナキスはギリシャ系の両親のもとルーマニアに生まれ、フランスのパリに長年住んでいた。現代音楽作曲家であり、建築家・数学者としても知られている。作曲法は数学的な音の並びと音響の規則から強い影響を受けた。

この曲はフランス革命200周年を祝いフランス国家の支援を受け、1989年に3台のジャンベのために作曲された。各奏者には6つの音色の違いが求められている。今回は音色の違いを表す効果を追求し、多彩で様々な音からなる一種の現代の西洋からのアイデア、「マルチパーカッション(複合楽器)」の形態をもとに演奏する。テンポの切り替えや複雑なリズムのもつ個性が重なり合い、時には大地を鳴らす民族的な要素をもちながら進行する。

## ● K. ニョック／南風の日々 Kim Ngoc／Tage des Südwind

宮本 妥子・久保 菜々恵・岡崎 星音・幸田 亜希・高 眞炫

ベトナム生まれのニョックは、7歳からハノイ音楽院でピアノを、14歳で作曲家である父の指導の下作曲を始め、ハノイ音楽院を卒業後はドイツ・ケルンで作曲を学んだ。電子音楽、ミクストメディア、シアターピースや即興に特化した現代音楽作曲家で、ベトナムで最も著名な国際的作曲家である。

この曲は2003年に4本のシンバルと手のために作曲された。4人の奏者それぞれがチャイニーズシンバル一枚を用い、パチは使わず手で様々な感情を込めて表現し、五感を研ぎ澄ませてお互いの音にも呼应しながら演奏する。

## ● 吉岡 孝悦／3台のマリンバのための「ディヴェルティメント」よりI. マーチ Takayoshi Yoshitaka／Divertimento for Three Marimbas I. March

Mb1: 水谷 梨莉 Mb2: 中村 有里 Mb3: 神谷 百子

マリンバ奏者であり作曲家でもある吉岡孝悦氏は、アメリカ、ウクライナ、メキシコ、プエルトリコ、中国、韓国などでマスタークラスやコンサートを開催。シンシナティ大学国際作曲コンクール優勝、PAS国際作曲コンクール優勝など、演奏、作曲ともに国際的に活躍している。

この作品はマリンバ奏者国塚貴美氏の委嘱作品で、1994年に作曲され、同年8月21日に神戸うはらホールにて国塚貴美、團千尋、上嶋亜津子の各氏によって初演された。「マーチ」「ワルツ」「サンバ」の3楽章で構成されているものの各楽章の相互関連はなく、1曲ずつ独立して演奏されることもある。今回演奏する「マーチ」は、アメリカ海軍軍楽隊がこれから出港しようとしている船の前で演奏する様子をイメージしながら書かれた吹奏楽的行進曲である。

## ● C. ツインマー／エレクトリック・グラス Claus Dieter Zimmer／Electric Grass für 4 Marimbas

Mb1: 神谷 百子 Mb2: 勝田 未来 Mb3: 新田 史央 Mb4: 中村 柊

ツインマーはドイツ・ハンブルク国立音楽大学を卒業し、1972年からはスイスのバーゼル放送交響楽団で首席打楽器奏者として活躍したほか、打楽器やオーケストラの作品を多数作編曲している。

この作品は、ある日彼が遊び半分でピアノを弾いているときにできた曲。マリンバで演奏するのによさそうだと感じた作曲者はすぐに楽譜にし、その後は音符は一切修正せず、ただマリンバアンサンブルで演奏できるように、また曲ができた時に彼自身が味わった楽しさをマリンバ奏者たちも味わえるようにアレンジした、と語っている。

## ● 山澤 洋之／彩りは再び巡りて Hiroyuki Yamazawa／Colors Revisit

1. 霧梅 Plum Blossoms in the Mist

Mb1: 西川 眞心 Mb2: 山澤 洋之 Perc: 幸田 亜希

2. 月下美人 A Queen if the Night

Mb1: 山崎 世知留 Mb2: 山澤 洋之 Vib: 西川 眞心

3. 曼珠沙華 Red Spider Lilies

Mb1: 山崎 世知留 Mb2: 山澤 洋之 Perc: 高 眞炫

本セミナーの講師である山澤洋之氏によって作曲されたこの曲は3楽章で構成され、マリンバデュオ〜4重奏まで幅広い編成で演奏することができる。

「霧梅」は、梅の花が咲き乱れる頃、一面を覆いつくす霧が生じその霧が梅の花の色を透かし一面の薄紅色に染まる風景を描いており、やがて来る桜の季節を予感させながら春を呼び込む。

「月下美人」は、夜に咲き翌朝にはしぼんでしまうという特徴を持つ透けるように白くて美しい花で、一晩の儂さと月の光の淡さが描かれている。ただただ静寂と微かな光と美しい花、そしてその香りが感じられる。

「曼珠沙華」は彼岸花の別名で、暗闇に咲く赤い火花のような花の造形と、花の美しさと相反する有毒植物であることのギャップが印象的に描かれている。

## ● 山澤 洋之／水のアラベスク(びわ湖ミュージックハーベスト委嘱作品)

Hiroyuki Yamazawa／Arabesque of Flowing water

指揮: 中谷 満

世界  
初演

Mb1: 西川 眞心 Mb2: 勝田 未来 Mb3: 水谷 梨莉 Mb4: 中村 柊 Mb5: 山崎 世知留

Mb6: 新田 史央 Vib: 中村 有里 Perc1: 岡崎 星音 Perc2: 幸田 亜希 Perc3: 高 眞炫

作曲当初は、若き才能が火花を散らすイメージから楽曲のスケッチをしていた。しかし、演奏者を含めたこの稀有なイベントに関わる人々との繋がりを感じるにつれ、水の流れ、特に会場であるびわ湖を走る水の文様のように感じてきた。吉祥文様である「流水文様」や「青海波」などのイメージから先行していたスケッチと合わせて構想を膨らます中で、さらに若き才能の輝きが幾何学模様のように感じ、まるで「アラベスク」のようだと感じた。ああ、これは「水のアラベスク」だ。と、腑に落ちたところから楽曲を再構成し今回の楽曲となった。

楽曲はマリンバの持つ刹那的な響きを最大6名で断片的に組み合わせ、その響きの中から呼応する打楽器と共鳴するヴィブラフォンで構成された部分から始まる。様々な幾何学模様が集まり一つの大きな模様を描いている。やがて、16分音符の同音連打というシンプルな構造を重ね合わせて流れを作る。重なり合い離れ合う水の文様の流れにイメージを得ている。やがてトレモロを用い、水の流れはより穏やかな響きとなる。幾何学模様が再現されながらも水の文様と重なりあいより大きな流れとなり曲は終結する。

(山澤 洋之)

マリンバ



**勝田 未来** Mirai Katsuda

東京音楽大学付属高等学校1年在学。大谷多賀子、神谷百子、西久保友広の各氏に師事。6歳でピアノ、12歳でマリンバを始める。第39回富山県青少年音楽コンクールで大賞、県知事賞。第73回福井県音楽コンクールで県知事賞。第26回“長江杯”国際音楽コンクールで第1位。第31・32・33回日本クラシック音楽コンクールで3年連続最高位。



**中村 柁** Shu Nakamura

現在、東京音楽大学器楽科打楽器専攻2年。在学中、神谷百子氏、柴原誠氏に師事。13歳からマリンバを始める。第26回、第29回KOBE国際コンクール本選出場。第33回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。



**中村 有里** Yuri Nakamura

岐阜県立加納高等学校音楽科に在籍し、現在3年生。現在、マリンバを加納三栄子氏に師事している。学内オーディションにより選抜され第37回加納高等学校音楽科定期演奏会に出演。第32回、第33回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。第9回さかい九頭竜音楽コンクール金賞、審査員賞を受賞。その他、岐阜市内のコンサート等に多数出演。



**西川 真心** Manaka Nishikawa

現在、東京音楽大学3年次在学中。マリンバ、打楽器を中路友恵、久保昌一、神谷百子、西久保友広の各氏に師事。2019年福井県音楽コンクールにて教育委員会賞受賞。2020年ドラムショップACT主催打楽器ソロコンテストにて奨励賞受賞。2023年堺管打楽器コンクールにて2位受賞(1位なし)。滋賀県出身。



**新田 吏央** Rio Nitta

現在、桐朋学園大学打楽器科マリンバ専攻2年に在籍。金子砂織氏・SINSKE氏・安倍圭子氏・藤井里佳氏に師事。3歳よりマリンバを始める。国内外の多数コンクールで1位などを受賞。2020年度ヤマハ音楽支援奨学生、2022年度桐朋学園大学入学時特待生に選出される。



**水谷 梨莉** Riri Mizutani

神戸山手女子高等学校音楽科マリンバ専攻3年生。今春より同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻管弦打楽器コースに入学予定。宮本慶子、小松加奈の両氏にマリンバを師事。中学で吹奏楽部パーカッションパートに所属し、その後本格的にマリンバを始める。



**山崎 世知留** Seshiru Yamazaki

大阪芸術大学音楽学科2年。2018年より後藤ゆり子氏に師事、マリンバを始める。『題名のない音楽会「夢響〜2019〜」』のオーディションに合格、出演。2021年よりSINSKE氏に師事。2022年、ロンドン国際音楽コンペティション打楽器Youth II部門1位をはじめ、国内外のコンクールで多数受賞。

打楽器



**岡崎 星音** Sein Okazaki

現在、東京武蔵野音楽大学打楽器専攻2年次在学中。打楽器を清水美紀、吉原すみれの各氏に師事。ドラムを高浦“suzzy”充孝氏に師事。松方ホール音楽賞にて奨励賞受賞。吹奏楽の祭典、琵琶湖チャレンジコンサート、Reviveコンサート、打モーレ打楽器の祭り、主催者。滋賀ハイブリット楽団代表、指揮者。滋賀県出身。



**高 眞炫** Jinhyon Ko

京都堀川音楽高校を経て、相愛大学音楽学部音楽学科演奏コース管弦打楽器専攻4年生。西川夏代、伊藤朱美子、宅間齊、中山航介、中谷満、中路友恵、堀内吉昌の各氏に師事。第23回KOBE国際コンクール打楽器部門最優秀賞及び兵庫県教育委員会賞、第9回さかい九頭竜音楽コンクール打楽器部門金賞、さかい九頭竜音楽賞。



**幸田 亜希** Aki Koda

同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻3年次在籍。これまでに打楽器を宮本妥子、中村拓美、奥田有紀の各氏に師事。5歳よりピアノ、12歳より打楽器を始める。Drum Shop ACT主催打楽器ソロコンテスト2018奨励賞受賞。第29回管弦打楽器ソロコンテスト大阪大会金賞受賞。



**宮本 宥子** Yasuko Miyamoto (コーディネーター) 《本日出演》

同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻卒業、ならびに同大学音楽学会《頌啓会》特別専修課程修了。ドイツ国立フライブルク音楽大学大学院を経てソリスト科を首席最優秀にて修了。ドイツ国家演奏家資格(Konzertexamen)首席取得。数々の国際コンクールで入賞、優勝。滋賀県文化奨励賞、平和堂財団芸術奨励賞を受賞。これまで世界10カ国以上の現代音楽祭でソリストとして招待演奏するなど欧米各地で高い評価を得る。(一財)地域創造の公共ホール音楽活性化事業協力アーティストとして、全国各地で300回以上のアウトリーチ活動を行う。現在、石山高校音楽科、相愛大学音楽学部・同大学院非常勤講師、同志社女子大学嘱託講師。パール・アダムスモニターアーティスト。

<http://www.yasukomiyamoto.com>



©Reishi Eguma

**神谷 百子** Momoko Kamiya 《本日出演》

日本を代表するマリンピスト。1995年第3回ルクセンブルグ国際打楽器コンクール・ソロマリンバ部門第1位受賞。2005年度川崎市アゼリア輝賞受賞。これまでに国内外22カ国で公演。12カ国で国際コンクールの審査員を務める。ザルトブルク夏期国際音楽アカデミーをはじめ国内外の音楽セミナー講師、ウィーン国立音楽大学、他で招聘講師を歴任。近年には久石譲、渡辺俊幸、山下康介、三宅和徳の作品初演で大きな成功を取めた。2018年にヴァイオリン水野佐知香、電子オルガン赤塚博美とのトリオを結成。これまでに6枚のソロCDをリリース。現在、東京音楽大学教授、洗足学園音楽大学・エリザベト音楽大学各客員教授、国立音楽大学講師。YAMAHA、Resta-Jay Percussionsアーティスト。Resta-Jay PercussionsによりMomoko Kamiyaシグネチャーマレットが製作されている。



**山澤 洋之** Hiroyuki Yamazawa 《本日出演》

洗足学園音楽大学・大学院を首席で卒業・修了。第12回日本クラシック音楽コンクールグランプリ。打楽器アンサンブル、吹奏楽、マーチング、弦楽合奏など多数の作曲作品が発表されている。主な出版作品に「花回廊/風龍」「彩吹」などがある。日本のみならず世界的にも作品が支持され、特に台湾では2017年に嘉義市で行われたマスタークラス・演奏会はテレビ放映されるような熱狂的な人気がある。打楽器集団「男群」主宰し、全国各地で多くの公演を重ねる。第8回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ銅賞、広島文化学園大学・大学院 准教授、洗足学園音楽大学・大学院講師。「(株)こおろぎ社 neoria」契約アーティスト。



**中谷 満** Mitsuru Nakatani 《本日出演》

1973年京都市立芸術大学卒業。同年大阪フィルハーモニー交響楽団に入団。1977年より一年間、旧西ドイツ国立芸術大学に留学。W.テリヘン氏、K.キスナー氏に師事し、ベルリン放送管弦楽団・ベルリン・ドイツオペラ管弦楽団などに出演。1991年パーカッションアンサンブル「シュレーゲル」を主宰。2008年大阪フィルを退団。2010年酒井格作曲「ティンパニ協奏曲」を初演。2012年大前哲作曲「ティンパニ協奏曲」を初演。2017年、W.テリヘン作曲「ティンパニ協奏曲」を演奏。2014年、2015年、2018年、2019年フライブルグ音楽大学より招聘され、同打楽器科定期公演に参加、その間、マスタークラスを行う。2018年滋賀県文化賞受賞。徳島文理大学、同志社女子大学講師を歴任。現在、相愛大学音楽学部、相愛大学大学院音楽研究科教授。



**久保 菜々恵** Nanae Kubo 《本日出演》

石山高校音楽科、同志社女子大学卒業、同大学音楽学会《頌啓会》特別専修課程修了。ドイツ・フライブルク音楽大学修士課程、ソリスト両課程を首席最優秀で卒業しドイツ国家演奏家資格取得。平和堂財団芸術奨励賞受賞、同財団海外留学助成者。2021年度フライブルク音楽大学打楽器課程非常勤講師として後進の指導に携わる。

音楽監督

**玉井 菜採**  
Natsumi Tamai



©尾形正茂

京都生まれ。大津で育つ。桐朋学園大学在学中に、プラハの春国際コンクールヴァイオリン部門に優勝。東儀祐二、小國英樹、久保田良作、立田あづさ、和波孝禧らの諸氏に師事。大学卒業後に渡欧、アムステルダム・スヴェーリク音楽院でH.クレバース氏、ミュンヘン音楽大学マイスタークラスにてA.チュマチェンコ氏に師事。この間、J.S.バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベト王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに入賞している。滋賀県文化奨励賞、平和堂財団芸術奨励賞、文化庁芸術祭新人賞、京都府文化賞奨励賞などを受賞。ソリストとして国内外のオーケストラと共演を重ね、リサイタル、室内楽の分野でも活発な演奏活動を展開している。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、東京クライスアンサンブル メンバー、アンサンブル of トウキョウ ソロヴァイオリニスト。東京藝術大学音楽学部教授。使用楽器は藝大所蔵のStradivarius“Ex-Park”(1717)。



**YAMAHA**  
Make Waves

想いを音にする・・・  
My Inspiration

Yamaha Concert Marimba  
YM-5100A

音域 C<sub>4</sub>~C<sub>7</sub> 5オクターブ  
音板材 ローズウッド(オープンボアフィニッシュ)  
音板幅・厚さ 72~41mm・24~20mm  
共振ハイフ / ヘルムホルツレジネーター(C<sub>4</sub>~F<sub>3</sub>)、  
長円レジネーター(D<sub>3</sub>~A<sub>3</sub>)・レゾナンスレギュレーター付  
高さ調整 ガススプリング方式(86~101cm)

※仕様および価格に関しては、  
予告なく変更する場合がございます。

神谷 百子

●お問い合わせ 株式会社ヤマハミュージックジャパン  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11  
お客様コミュニケーションセンター 電話窓口 ナビダイヤル:0570-013-808  
つながらない場合は053-411-4744へおかけください。  
受付時間:月~金 10:00-17:00(土曜・日曜・祝日・センター指定休日を除く)

製品詳細についてはWebにて➡

株式会社ヤマハミュージックジャパン

神谷 百子: YAMAHAアーティスト



<http://korogi.co.jp>

**KOROGI**

株式会社 こおろぎ社 〒916-0144 福井県丹生郡越前町佐々生38-9-1  
TEL(0778)34-2333 E-mail: front@korogi.co.jp

ネオリアこおろぎ 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北5-7-20 定休日:毎週月曜  
TEL(03)5912-5880 E-mail: front@korogi.co.jp

Perfection PF3000AC A13-C76 5-1/3 Octave Marimba

山澤 洋之: 「(株)こおろぎ社 neoria」契約アーティスト



**ADAMS**

アダマス・コンサート・ビブラフォン~APEX フレーム~

音板に高力アルミニウム合金を採用し、クリアで華やかな音色と深いレゾナンスで豊かな表現力を実現。またモーターシステムには、静粛性が高く、スムーズに動作するスライド式コントロールを採用。そして高さ調整が容易なAPEX フレームなどアダマスならではの斬新な設計が随所に施されている。 Model: AD-VCSA30G

アダマス日本総代理店 パール楽器製造株式会社 〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

宮本 妥子: パール・アダマス モニターアーティスト

○ 平和堂財団芸術奨励賞受賞者演奏会シリーズ vol.27  
Peace with Music, Music with Pigeon 鳩の音楽会2024

2024年9月26日(木) 高槻城公園芸術文化劇場(南館)大ホール  
9月28日(土) ひこね市文化プラザ エコーホール  
9月29日(日) 栗東芸術文化会館さきら 大ホール  
各日15時開演  
料金: 入場料無料(要整理券/抽選) 申込期間: 6月下旬~8月上旬(予定)

○ 平和堂財団設立35周年記念 ガラ・コンサート2024

2024年12月22日(日) 14時開演 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール  
料金: 入場無料(要整理券/抽選) 申込期間: 9月上旬~11月上旬(予定)

○ 平和堂財団芸術奨励賞(音楽部門)選考会

2025年1月5日(日) 栗東芸術文化会館さきら 大ホール  
募集期間: 2024年10月1日(火)~31日(木)

○ 平和堂財団次世代育成セミナー  
びわ湖ミュージックハーベスト2024 室内楽セミナー

2025年3月26日(木)~29日(土) 滋賀県立文化産業交流会館 小劇場 ほか  
募集期間: 2024年9月上旬~10月下旬(予定)